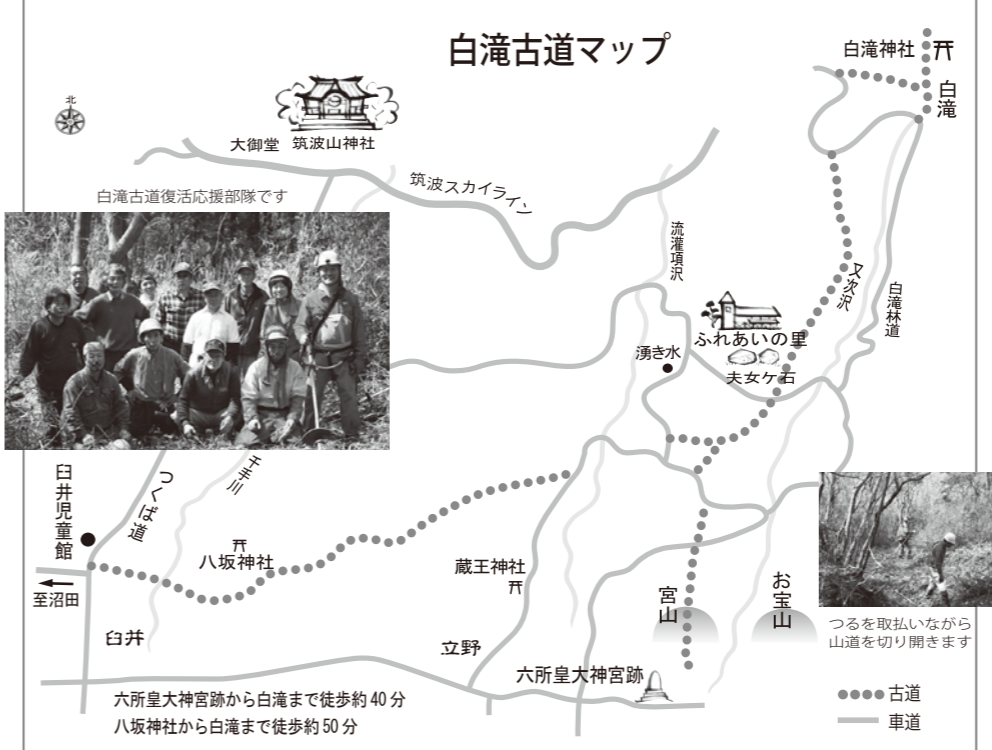


## 祝 白滝古道全線開通!

3月10日、平日にも関わらず、各々山仕事の道具を持った13人が集合しました。すそみろく編集部呼びかけに集まったのは、つくば森林クラブ、つくばフォレストクラブ、つくば環境フォーラム、小田地域振興協議会などからの応援部隊です。ま



ず、立野の区長さんの案内で、立野と白井を結ぶ山道を切り開きました。生い茂る篠を刈り、つるを取り除き、行く手をふさぐ倒木を片付け、山道がどんどん開けていきました。2時間ほどで、白井の八坂神社に通じる道が開通しました。見晴らしのよい棚田の上で昼食、心地よい春風に疲れも癒されました。午後は宮山から筑波ふれあいの里に通じる山道を整備し、これですべての山道が歩けるようになりました。

白井から立野を経て白滝に向かう山道は、筑波山麓をおだやかに登る気持ちのよい道です。六所皇大神宮跡から宮山を経て筑波ふれあいの里をぬけていく道は、途中車道を横切りますが、変化に富んだコースです。どちらも、かつては地元の方々が白滝神社におまいりに行くとき歩いた道とことです。今後、道標をつけ、マップを作成する予定です。たくさんの方が歩いてくれるようになるとうれしいですね。

田中ひとみ(つくば環境フォーラム代表)

## 一度使ったら手放せない!竹箒作りの名人

竹箒作り40年のキャリアを持つ女性を訪問した。大貫地区に暮らす松崎としさん(81歳)である。こたつのある暖かい部屋で、美味しいお茶のもとをしながらお話を伺う。松崎さんから聞かせていただいた竹箒への思いを紹介しよう。

●地元産の材料で  
孟宗竹の枝葉の部分を、松崎さんは箒と呼ぶ。箒を何本も集めてそろえ、それらを束ねて箒とする。箒は地元産でなければならずと松崎さん。この地方の風土に育った箒だからこそ、暑さ寒さに耐えられる丈夫な箒になるそうである。

●道具を工夫  
ハサミやペンチは長きにわたって使われた厳選されたもの。栓抜きのような形の道具にいたっては、松崎さん手作りの道具だそうである。箒を縛る針金もいろいろ試した結果のもの。ある特定の金物屋でしか購入できないものらしい。



使い込まれた道具類

●目指すは耐久性  
「丈夫では、商売にならないのだが」

と笑って話してくれたが、長い期間使える丈夫な箒作りがモットー。前述したように材料を選ぶことはもちろんのこと、柄に打ち付けられている一本の釘の工夫。また、何回かに分けて針金で縛りながら重ねていく絶妙な箒のたね具合に丈夫の秘密が隠されているのだろう。

●消費者とのコミュニケーション  
購入者に直接届けるという松崎さん。生産者と消費者とのお互いの顔が見える商売を実践。時には、注文に応じて、その人の背丈にあった箒まで作ってしまったとか。遠い地区の場合、息子さんの車を頼る場合もあるが、田井地区(すそみ地区)は、自転車に竹箒を積んで届けてしまうのが気軽な話。

暖かい部屋から出て、次は実際に作業場での箒作りを拝見した。部屋の中で、ゆったりとてなして作っていた松崎さんの姿が、一人の働く女性として変身した。真剣なまなざし、きびきびとした無駄のない動き。「力ばっかではない。こつがあるんだよ」と、どんどん箒を束ねてゆき、道具を器用に扱いながらみるみるうちに一本の箒ができていく。

一日のノルマを決めて、雨の日も風の日も竹箒作りに励む松崎さん。

## すそみの植樹祭

3月7日 細草の棚田周辺(神郡) つくば環境フォーラムは、雑木林の復活をめざして耕作放棄地にクヌギやヤマザクラを植えました。



たくさんの子どもの手で樹が植えられました

3月14日 八坂神社の森(白井) 白井八坂神社境内(1736坪)に、白井区長他82名が集まり、クロマツ1200本、栓300本、桜の苗木50本を植樹しました。筑波山神社神官による植樹式典後、後世に松を引き継ぎ、将来の森林の姿を思い描きながら、一同植樹を行いました。雨の中大変お疲れさまでした。



あいにくの雨の中の作業でした

鮎川隆雄(白井地区)

## 4月10日 六所皇大神宮跡(六所)

明治43年に廃社された六所皇大神宮跡地に、桜や紅葉を植える「植樹祭」が行われます。植樹祭は、修徳会が管理整備を続けて100年を経、来訪者のトイレ使用の契約をつくば市と結んだ事を機会に、花と紅葉を楽しめる公園に整備しようということから行われるもの。神宮跡には休憩所「六所邸」を建設し、桜や紅葉を植えることになり、ボランティアグループの「ふれあい筑波」と修徳会・六所聖地保存会が協力して、今後数年かけて整備を進めて行くそうです。参加希望される方は、029-866-0677ふれあい筑波まで。 森田源美(六所地区)

**木材・製材・請負**

すげがわ

# 鮎川材木店

代表 鮎川源平

〒300-4211  
つくば市白井 26  
TEL 029-866-0380



真剣な表情で竹箒を作る松崎さん

もちろん、家庭の仕事も、畑仕事もこなしながら。テンポのある会話。くるくる動く表情。長年歩んできた中には、悲しみや苦労の経験も潜んでいるかもしれないのに、松崎さんの表情はどこまでも明るい。「若い人からお年寄りまで友達はいっぱいいるよ」と語る松崎さん。どうかいつまでもお元気で、生涯現役の竹箒作りをお願いしますと心から応援したい。(松崎さんの竹箒に関するお問合せは029-866-713374松崎さんまで。一本600円)

遮那ひろみ(神郡地区)



長戸日陽里(田井小学校5年)

## インフォメーション

●紫の会 草木染展  
5月2日(土)・3日(日)・4日(月・祝) 10時~16時/田井ミュージアム(つくば市神郡54) /筑波山麓の樹木や草で染色した布を使った着物・洋服・暖簾・小物などの作品展です。紫の会は、毎月1回筑波ふれあいの里で染色教室を行っています。7回目となる今年には、紫根染め・型染めなどの作品を出展します。 /入場無料 / 「問」 NPO法人自然生クラブ 029-866-2192

●生きものと共存する棚田の米づくり  
田植え 5月16日(土) 10時~15時 / 沢水だけで無農薬の米づくり。美しい筑波山を眺めながら一緒に! 参加費900円 場所はつくば市神郡(申込者に地図送ります) / 米づくりボランティアに登録してボランティア作業デーに参加すると、ポイントに応じて、お米の配分が受けられます / 作業デーは5月9日(土)・23日(土)・30日(土)、6月6日(土)・13日(土)・20日(土)、7月4日(土)、8月8日(土) / 作業内容は、苗の補植、草取り、溝きり、イノシシ柵設置など

「問」 NPO法人つくば環境フォーラム 029-866-315151

●田楽の集い 田植え  
5月17日(日) 10時~15時 / 大雨中止 / 山の神の谷津田(つくば市神郡2336) 参加費大人1000円、学生・障害のある方500円(昼食あり) / 筑波山麓の谷津田で紙マルチによる無農薬の米作り。黒米や赤米などを手植えします。あぜで田楽舞いもあります。「問」 NPO法人自然生クラブ 029-866-2192